

平成27年度 第1回消費生活モニター意見交換会報告

日時 平成27年7月23日(木) 午後1時30分～午後4時00分

会場 川崎市生活文化会館(てくのかわさき) 出席者 24人

次第 1 開 会

2 あいさつ

3 ワークショップ及び講演

テーマ 「私たちのくらしはすべて世界につながっている

～商品の一生を知ろう～」

講 師 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

理事・環境委員長：大石 美奈子さん(ファシリテーター)

常任顧問 : 辰 巳 菊 子さん(ミニ講座講師)

4 閉 会

《 講義概要 》

- ファシリテーターから「ワークショップ」について簡単に説明(参加する人が、主体的に、遊び心を持って、学び合う場)。
- アイスブレイク(*注)として、参加者のグループ分けを行い、自己紹介及び簡単な意見の交換(実際に自分が使ってみて良かったというエコ商品などの紹介)を行いました。
(*注)アイスブレイクとは、参加者の緊張をほぐし、話しやすい雰囲気をつくり、参加者同士が知り合うきっかけ作りのために行う簡単な作業のこと。



ファシリテーター 大石さん

- その後、①レギュラーコーヒー②携帯電話の2品目について4つのグループに分かれ意見交換を行いました(レギュラーコーヒー、携帯電話共に2グループずつ)。

- 資源～商品の廃棄に至る商品の一生について、黄色の付箋にどういうことが起こるのか、桃色の付箋にはどのような負荷がかかるのかをグループで意見を出し合っていました。(右写真参照)



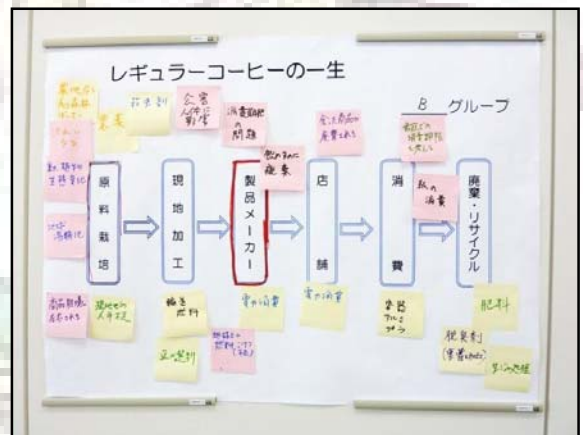
- その後、各グループで作成した「商品のプロフィール」を貼り出し、各グループの代表者がグループ内の意見を発表し、他のグループとの質疑応答を行いました。



意見交換した内容をそれぞれ発表していただきました。



Aグループ
「レギュラーコーヒー」



Bグループ
「レギュラーコーヒー」



Cグループ
「携帯電話」



Dグループ
「携帯電話」

- 発表後、ミニ講座として、配布資料「わたしたちの暮らしはすべて世界につながっている」により、講師から「持続可能な暮らし」、「商品の一生」などについて講演をしていただきました。また、コーヒーには自然や環境に配慮しているラベル（フェアトレード、有機 JAS マークなど）が貼られていること、消費者ができる事は、賢明な商品の選択・購入をすること、ものを長く使い大事にすることなどについてお話をいただきました。



ミニ講座 講師 辰巳さん



ミニ講座の様子

〈コーヒーについている認証マークのいろいろ〉



〈フェアトレード〉



〈レインフォレストアライアンス〉



〈バードフレンドリー〉



〈グッドインサイド〉



〈有機 JAS〉

- 講座終了後、ふりかえりの時間として、各自「ふりかえりシート」に今日体験して思った事などを記入していただきました。
- 最後に、一人ひとり参加して感じたことなどを一言ずつ発表していただき、閉会となりました。

〈まとめ〉

1. 自分のくらしが、環境に負荷をかけていることを知ろう
2. ものの変化はするが、消滅はしないことを見極めよう
3. ものの来し方、行く末を想像する力をもとう
4. わからなければ調べよう、聞いてみよう
5. そしてグリーンコンシューマーになろう

《 全体から 》

今回の意見交換会は、「ワークショップ」という手法で講座を行いました。ワークショップとは、講師の講演をただ聴くという形ではなく、参加された皆さんが実際に作業を行う中で、主体的に知識やアイデアを出し合い、新たな発見や学び、提案を生み出す環境について学んでいただくというものです。環境について考えるきっかけとなり、概ね好評であったと思います。

身近な商品である「レギュラーコーヒー」と「携帯電話」の商品の一生を考えていく中で、物やサービスは全部世界につながっており、コーヒーはお店に行けば簡単に手に入るが、それをたどっていくと私たちの行ったことがない地域で生産されている、携帯電話の原料となるレアメタルについても同様で、商品に関する情報がどのように消費者に提供されているのかを見つめ直す良い機会となったのではないのでしょうか。

今後、皆さんが買い物をする時などに、より環境に配慮した選択を心掛け、より賢い消費者になっていていただけることを期待しています。

《参考》
認証マークの付いた商品

